

おらだり

「おらだり」とは荒川地区の方言で「私たちの住む地域」という意味です

今月号の話題

- ◆青空教室
- ◆収穫フェスティバル
- ◆塩引き作り
- ◆ウィンターフェスティバル
- ◆家庭科ミシンボランティア
- ◆「やろでば おらだり」

米兄弟



他

霜寒の候、地域のみなさまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃より金屋小学校の活動にご協力くださりありがとうございます。

さて、青空教室から始まりたくさんの行事があった2学期も残すところわずかとなりました。「青空教室」「稲刈り」「収穫フェスティバル」「ウィンターフェスティバル」など多くの行事において地域の方にご協力いただくことができ、地域の方と子どもたちとの交流の中では「笑顔」があふれ、「ありがとう」の声がたくさん聞こえました。地域の力の大きさを改めて感じた2学期でした。ご協力ありがとうございました。

(文責 地域コーディネーター 小川 涼子)

青空教室



活動の様子



金屋小学校でとても大切にしている行事「青空教室」。直前まで台風が心配されましたが、みんなの願いが届き荒川での実施となりました。今年は地域有志の方による味噌汁のふるまいもあり、みんなの笑顔があふれる青空教室となりました。事前準備や金屋水辺の楽校の整備のために、何度も足を運んでくださった羽越河川国道事務所のみなさまに感謝いたします。また、川舟の用意や環境整備、当日準備でたくさんの保護者ボランティア、地域ボランティアのみなさまのお力をお借りしました。本当にありがとうございました。当日は地域ボランティアのみなさまが、自分のことのように現地での実施を心配してくださったことに胸が熱くなりました。

6年生 塩引き作り体験



6年生が塩引き作りを体験しました。今年も鮭の不漁が話題になっていますが、金屋小学校では1人1匹全員が体験します。まずは水洗いとぬめり取り。ボランティアさんに教えていただきながら作ります。塩を引き、漬け、塩出しをして干す。ひとつひとつの作業を丁寧に作りました。体育館の軒先でじっくり風に吹かれながら熟成させました。お家で味わうのが楽しみです。

地域を元気にするために小学生と地域が連携して「誰でも立ち寄れるつどい場」をつくる活動が「やろでば おらだり」です。今年度のテーマは「地域の魅力を伝えよう!」でした。地域のみなさん、まちづくり協議会、集落支援員さん、6年生、PTAが一体になって1学期から企画を進めてきました。今年はたくさんの人に楽しんでもらえるように文化祭と一緒にを行いました。



わたあめづくり



「やろでば おらだり」



玉こんにゃく準備中



たくさんのボランティアさんに支えられて



ラベンダーサシェ準備



ありがとう



みんなの笑顔が見たくて企画しました



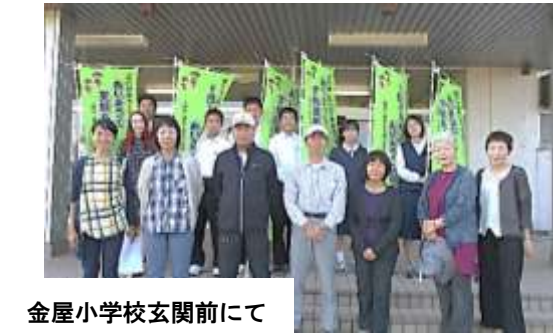
ポッチャの様子

あらかわあいさつの日

9月27日は「あらかわあいさつの日」でした。地域、家庭、学校が連携してあいさつに取り組みました。地域の方の「車に気をつけてね。」との言葉にいつもより元気な声のあいさつが響きました。



地域の様子



金屋小学校玄関前にて

3年社会科見学

11月27日に3年生が近藤和子さんの畑へ見学に行ってきました。収穫の時期でしたが、見学のためにとっておいてくださったとのこと。ネギの畝では風で倒れるのを防ぐために支柱を立てたり、白くきれいなセロリになるように紙を巻いていたりとたくさんの工夫を教えてくださいました。「虫がついたり、病気になったりすることもあるけれど、できるだけ農薬を使わずおいしい野菜を作りたい。」という近藤さんの言葉が印象的でした。



野菜について教えて下さる近藤さん

家庭科ミシンボランティア

5年生の家庭科。ミシンもアイロンがけも初体験という子が何名もいました。ボランティアのみなさんが丁寧に教え、見守ってくださったおかげでけがもなく無事にバックを作ることができました。



ボランティアさんありがとう



収穫フェスティバル

春に全校で田植えをした学校田。今年の収穫量は「159.3kg!!」の大豊作でした。協力農家の近藤さんを始め地域ボランティアのみなさま、今年もありがとうございました。

「よいしょ、よいしょ！」と大きな声援に餅のつき手、かえし手ボランティアさんも大奮闘。できたてのお餅はふわふわでいつもよりたくさん食べる子も多かったようです。食べ物に感謝、5年生に感謝、地域の方に感謝、たくさんの感謝と笑顔があふれるあたたかい収穫フェスティバルになりました。



収穫フェスティバルの様子



春に全校で田植えをした学校田。今年の収穫量は「159.3kg!!」の大豊作でした。協力農家の近藤さんを始め地域ボランティアのみなさま、今年もありがとうございました。

「よいしょ、よいしょ！」と大きな声援に餅のつき手、かえし手ボランティアさんも大奮闘。できたてのお餅はふわふわでいつもよりたくさん食べる子も多かったようです。食べ物に感謝、5年生に感謝、地域の方に感謝、たくさんの感謝と笑顔があふれるあたたかい収穫フェスティバルになりました。



はさ木づくり



予想以上の大豊作に大喜び

ウィンターフェスティバル



みんなの笑顔のため6年生は大奮闘



白熱のもぐらたたき

お店はわんぱく班が2チーム合同で出しました。(わんぱく班は1年生から6年生までで構成される縦割り班です。)6年生を中心に限られた時間で、みんなが楽しめるように一生懸命考えました。1年生、2年生も飾りを作ったり意見を出したりして、みんなで作り上げたお店です。地域の方にも来ていただいて楽しいフェスティバルになりました。

ボランティア表彰

収穫フェスティバルの日に「いきいき県民カレッジ」地域ボランティア表彰がありました。これは生涯の中で学び、身につけた知識や技能等の成果を学校や地域で生かしていこうという新潟県の取り組みです。ボランティアをすることで単位を修得しその単位によって新潟県から奨励賞が授与されます。今回は書道ボランティアの磯部白星さん、鳥屋区長、齊藤弘志さん、金屋いきいき茶の間、近藤良子さんの3名が鳥屋野湯賞を授与されました。いま「地域みんなの力で子どもたちの未来を拓く」ことが必要とされています。金屋小学校は地域の方と「思い」「目標」を共有し学校と地域でつくる学びの未来を目指していきます。

